

視点を変えた情報公開とICT化で 年間6,200時間の事務削減

～職員の仕事方改革を目指して～

交通基盤部 建設支援局 建設技術企画課 技術調査班・建設ICT推進班

設計書開示(1件当たり)の事務処理

※主に土木・農林事務所契約担当の事務



合計
3.1時間/件

※アンケート調査による

設計書開示に係る総事務時間

開示請求件数 (A,件/年)	事務処理時間 (B,時間/件)	総事務処理時間 (A×B,時間/件)
2,000 土木・農林事務所	3.1	6,200

設計書の開示請求に全庁で
年間6,200時間
もの事務処理を要している。

これまでの事務改善に対する試み

設計書を「公表」できないだろうか？



設計書に使用する単価は
出版物の単価が基礎になっている



設計書に使用する単価を「公表」すると
著作権を侵害



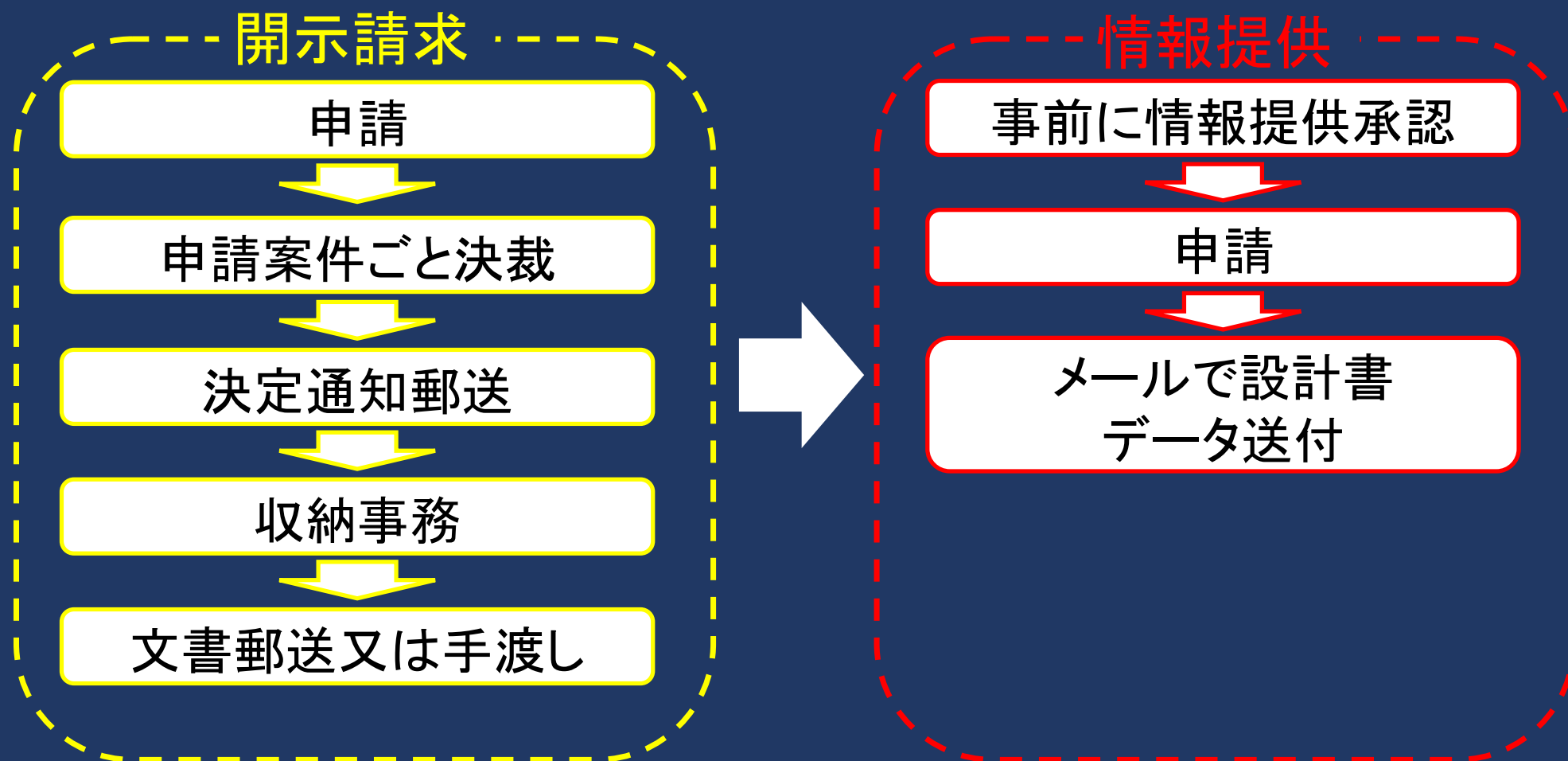
抜本的な事務改善には至らなかった。

「公表」にこだわらず**視点を変えて**・・・

「**情報提供**」により新しい仕組みのサービスができないか検証することにした。

※ 公 表：不特定多数に申請なしで設計書を提供
情報提供：申請に基づく設計書提供

妥当性を検証することとした改善案



改善案の妥当性に関する検証

- ① 同種の事例調査
高知県、東京都、国土交通省に赴き、事例調査
- ② 法律相談
改善案は出版社の要望に沿った対応をしている
- ③ 法務文書課への相談
情報提供なら仕組みを当課で定義できることを確認

検証の結果得られた仕組み

申請者

ICT化

職員

Web上のリストで
案件選択

名前、メールアドレス等
を記入、申請

自動で
原則翌日

設計書データが
メールで届く

情報提供承認

契約

情報提供用設計書
データ手動保存

申請に応じて自動で
設計書データ送付

自動で
リスト化

自動保存された
データを利用

事務削減効果

職員の事務作業年間 **6,200時間** を
ほぼ0時間 にできるようになった。

県民(申請者)サービス向上

- ・迅速な情報提供(申請から提供まで)

開示請求：最大20日

情報提供：原則1日

19日の処理日数削減

- ・費用負担

開示請求：紙1枚10円

CD1枚50円

無料

今回の事務改善で得られた教訓

事務改善に大切なことは・・・

- ① 当たり前と考えている**制度を疑い**
- ② 諦めずに**改善案**を提案し**検証**すること
- ③ そして、その**姿勢を継続**すること